

大阪大学大学院人間科学研究科 発 「シリーズ人間科学」 刊行開始! 第1巻 食べる



以降続刊

第2巻『助ける』
(渥美公秀・稲場圭信編)

第3巻『感じる』
(入戸野宏・綿村英一郎編)

八十島安伸
中道正之 編

大阪大学大学院人間科学研究科・教授
ラット・マウスにおける味覚の好き嫌いの脳基盤をさまざまな研究手法を用いて探究。

大阪大学大学院人間科学研究科・教授
40年以上にわたり、野生ニホンザル集団の中で暮らすサル顔を覚え、「誰が誰に何をしたか」を記録しながら、サルの行動発達や子育て、老いなどをテーマに研究を継続。

四六判・並製・238頁 本体1,800円 ISBN978-4-87259-618-2 C1330

人の「こころ、からだ、くらし」に、心理学、社会学、教育学、哲学、生物学など広範な学問領域から学際的にアプローチする「シリーズ人間科学」が今春発刊！ 人々の暮らす現場に寄り添って、課題を見出し、解決を目指す営みをしながら、同時に、人の本性の理解を目指す研究をわかりやすく紹介します。

第1巻は、生き物すべてが、誕生から死までの生涯を生き抜くために不可欠な行為「食べる」がキーワード。大学生や大学を目指す高校生、一般社会人の読者を対象に、人間科学が抱合する多様な学問分野の視点から、「食べる」という「日常的な行為」を顧みることの面白さを実感できる一冊。

第1部 「食べる」を通じて学ぶ
第1章 食を通じた心の発達 (清水 (加藤) 真由子)
第2章 サルは共に食べて社会を学ぶ (中道正之)
第3章 好き嫌いから「食べる」を捉えなおす (八十島安伸)
第2部 「食べる」を通じてつながる
第4章 「食べる」ことは「こころ」を映す—心理療法から拒食と過食を考える (竹田剛・佐々木淳)
第5章 ツールとしての炊き出し—災害救援における食の意味 (渥美公秀)
第6章 エンデの村で食べること—インドネシア東部でのつながりのある暮らし (中川敏)
第7章 ヒマラヤ高所における食の変化と病—「フィールド栄養学」研究から (木村友美)
第3部 「食べる」を通じて考える
第8章 「食べる」ことになぜ作法が求められるのか—「食べる」に関する教育人間学的考察 (岡部美香)
第9章 「食べる」ことと性—食の哲学に関する一側面 (檜垣立哉)

○ご注文はお近くの書店にてお申し込みください。
○直接小会へご注文頂く場合は、eメール (件名「書籍注文」としてください)、お電話、FAX、ウェブサイトご注文フォームよりお申し込み下さい。e-mail: info@osaka-up.or.jp TEL: 06-6877-1614 FAX: 06-6877-1617
http://www.osaka-up.or.jp 商品到着後のお支払いは、同封の郵便振込票をご利用下さい。

ご注文書	書店使用欄	<p>シリーズ人間科学 1 食べる</p> <p>八十島安伸・中道正之 編</p> <p>四六判・並製・238頁 本体1,800円 ISBN978-4-87259-618-2 C1330</p>	<p>大阪大学出版会</p> <p>〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-7 大阪大学ウエストフロント</p> <p>TEL06-6877-1614</p>
	冊	<p>【お客様のご住所・ご氏名】</p> <p>【お電話番号】</p>	